

起因物、事故の型：フォークリフト - 激突されの死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	業種小コード	労働者規模
1	12～13	フォークリフトを使いトラックへの積み込み作業中、リフトにサイドブレーキを掛けてトラック荷台に乗り込んで作業をしていた所、リフトがトラックの方に向かって動き出してきた為、リフトを止めようと荷台から降りたが間に合わず、リフトとトラックの間に挟まれ受傷し骨折した	46	40301	10～29
1	18～19	倉庫内作業中、被災者が、フォークリフト作業中の倉庫内作業員のそばに近づいた際、フォークリフトと接触し負傷した。	30	80401	1～9
1	13～14	荷主先で10トン車の引取物（鉄製の網カゴで荷台前方の右側2段左側3段積みで抱き合わせ状態）を降ろしてもらう為、先に右側のアオリを開けた。次に左側のアオリを空けるため3ヶ所あるキャッチの2つ目を外している時、荷主先のフォークリフトマンが右側から引取物を降ろしかけたが、フォークリフトの爪がうまく刺さらず、左側に積載していた取引物とも勢いよく押し込んだ為、左側のアオリが押されて急に開き、右頬を強打し転倒した。	42	40301	1～9
1	9～10	ホーム内において件数員とバック走行中のリフト（作業員）が接触した。作業員は後方に歩き出し、作業員はリフトで荷物を移動する為に後方に移動、右旋回しようとした時にリフトの下部が作業員の右足踵に接触した。	47	40301	50～99
1	14～15	現場にて、発砲後の原板を高さ1mほどの金属製の枠付き台車にのせて、運搬する作業中、製品が目の高さまで搭載し前方が見えにくい状態だった為、前方から原料を運搬するフォークリフトにぶつかり台車の取手で胸部を強打し負傷した。	41	10805	30～49

1	14~ 15	生産棟・第二グループ発泡工程現場にて、発泡後の原板を高さ1mほどの金属製の枠付き台車に乗せて運搬する作業中、製品が目の高さまで搭載し前方から見えにくい状態だった為、前方から原料を運搬するフォークリフト（就業先社員が運転）が近づいたことを気づくのが遅れ、台車を動かして避けようとしたが、フォークリフトにぶつかり台車の取手で胸部を強打し負傷した。	41	170101	100 ~ 299
1	11~ 12	当社工場内に於いて、シャッター横の引き戸から台車を後方向きに戸外へ出て通行しようとした時に、同僚がフォークリフトで作業をしているのを確認していたがフォークリフトの後方を通過できると判断し通行した。その際にフォークリフト運転手に声掛けによる注意喚起をせず、運転手もフォークリフト後部への注意を怠った為、フォークリフトと接触し転倒し、右足脛を骨折した。	79	11301	100 ~ 299
1	16~ 17	会社の構内で、翌日の自販機の積込作業中、運転手が後方確認を怠った為、事務所から倉庫に移動中の同僚の右足首をフォークリフトの左後輪で轢いた。	62	40301	—
1	22~ 23	当社にて、事務員Aがフォークリフトにて大型車両への積込作業中、Aが後退時に後方確認を怠り、後方にて台車を引いていた運行者Bの右足に後突し、台車とリフトに挟まれ負傷した。	52	40301	50 ~ 99
2	10~11	当社工場内に於いて、作業員が溶接後の柱の溶接屑を取るためにフォークリフトで柱を回転したところ柱が資材置場のH鋼に当たり、高さ60cmの所からH鋼（100×100×9000：150kg）が落ちてきた。近くで作業をしていた当人の左足ふくらはぎに当たりふくらはぎを裂傷し負傷した。	57	11209	1~ 9
2	13~14	第三倉庫内仕分け作業場にて、被災者がダンボールをパレットに高く積み上げ、そのパレットをフォークリフトが運搬するという作業中、高く積み上がったダンボールで被災者が死角になっており、又声で注意喚起をしたが被災者は聞こえておらずフォークリフトがパレットに爪を差し込んだ際、パレットの前にいた被災者の左足に当たった。	30	170101	1~ 9
					50

2	10~11	作業所内を移動していたところ、作業所内でバック走行していたフォークリフトに接触したため、転倒し負傷した。	30	80109	~ 99
2	8~9	本社工場にてフォークリフト荷役作業中へ荷物の降ろし場所を指示するためフォークリフト左側面に近づき荷役作業中へ指示したところ、フォークリフトが右旋回しフォークリフト後方のウエイト部分が左側へ大きく動いたため、身体が接触し、バランスを崩して転倒し、右足がフォークリフト左後車輪に挟まれた。	37	50101	10 ~ 29
2	8~9	第2工場西側シャッター付近で製品搬送作業中にフォークリフトに製品を乗せてバックしながら曲がって外に出たところ、第3工場へ向かっていた被災者と接触し右足を負傷させた。	65	10805	30 ~ 49
2	18~19	倉庫内にて、作業中に右側を走行しているリフトが急ハンドルを切った為、接触転倒し、その際に左足下部を轢かれた。	53	40301	10 ~ 29
2	23~24	フォークリフト部品出荷作業中に、客先社員が同現場にてフォークリフトで作業を行っていたので7m程後方で待機していた。作業終了まで待機していたが、客先のフォークリフトがバックしていた。当然後方確認していると思ったが減速する様子が見られなかったのでクラクションを鳴らしたが間に合わずフォークリフト同士が接触し、頸部・腰を痛めた。	36	170101	50 ~ 99
2	23~24	製品補充者がピッキング作業場へ製品補充後、バックで走行していた時、出荷作業中が製品確認のため、その後方で待機していた。製品補充者がバック走行で下がって来たが、出荷作業中が自分に気付いていない様だったので慌ててクラクションを鳴らした。製品補充者はその音でブレーキを踏んだが間に合わず、出荷作業中のフォークリフト爪部分と製品補充者フォークリフトの後部が接触した。	36	11502	1~ 9
3	10~11	発送口テント下で荷物を搬出中、パレットからハンドリフトを抜くために後ずさりしたところ、同じく搬出中で右からバックしてきたフォークリフトの左側後輪に右足をひかれた。	60	10701	100 ~ 299

3	13~14	出庫ヤードにて、フォークリフトによる原料の搬入作業と雪による倉庫床面のタイヤ痕清掃作業を2人1組で行っていた。清掃作業員が出庫ヤード内のグレーチング部分でモップの水切りを実施中、バックしてきたフォークリフトと接触し、右足を挟まれ骨折した。	38	11403	100 ~ 299
3	20~21	積荷にラップを巻いていた時に、通過するリフトの死角に入ってしまう、リフトの右前輪が左足に乗り上げ被災した。	33	40301	1~ 9
3	20~21	1F倉庫内作業場で、カーゴ台車を左手で持って後手に引きながら移動していたとき、前進走行してきたフォークリフトの左前輪と本人が踏み出した右足小指側が接触した。本人は安全靴を着用していたが、安全カバーのない部分に接触した。	49	40301	30 ~ 49
3	17~18	Aが荷降ろし中、フォークリフトで荷物パレットを荷台より降ろし後退したが、手伝いであおりを上げようとした時に右半身とAのフォークリフト後部が接触して、被災者が転倒し、右足首と右手を負傷した。被災者は荷卸し待機中で、Aの次に荷降ろしする予定だった。	46	40301	100 ~ 299
4	9~ 10	構内で車両の転回スペースの掃き掃除をしていたところ、後方に人がいることに気づかずに後退してきたフォークリフトの右後方部分が左腰部分に接触して転倒し、右後輪で左足を踏まれた。その際に靴が脱げてしまった左足を、前進したフォークリフトの右後輪で再度踏まれ、左足甲裂傷と左中足骨骨折を負った。	68	150102	100 ~ 299
4	10~ 11	負傷者が伝票を見て構内を歩いていたところ、バックしてきたフォークリフトにひかれた。リフト運転手は空になったパレットを床からトラックへ積み、その後バックする際に左後方は確認したが右は確認不足であり、負傷者がリフト右から後方に向かって歩行中に、バックしてきたリフトにひかれた。	63	40301	30 ~ 49
4	11~ 12	当社敷地内、本社工場押し出し部門の南通路側シャッター前において、床に落ちた樹脂くずを箒で掃く清掃作業中、積荷作業のためバック移動をしていたフォークリフトと左足首が接触した。	40	10805	50 ~ 99
		バッテリー式のパレットフォーク充電場所にて、作業終了後に本機を充電			100

4	13～ 14	するため、パレットフォークから本人が降車した状態でバックにて本機を移動したとき、ハンドル操作を誤り、右足に本機が接触した。	37	80401	～ 299
4	7～8	ベルトコンベア上の製品の移動作業中、安全確認を怠り、急に通路側に振り向くように飛び出し、通行中のフォークリフトに衝突した。	41	10805	50 ～ 99
4	7～8	ベルトコンベアーの物を移す作業をしていたところ、振り返った時にフォークリフトの先端と右頬骨が激しく衝突した。あまりの衝撃で、一瞬気を失いそうになるほどの痛みを感じた。痛みは残ったが、少し休憩を取り作業に戻った。しかし徐々に痛みが増していき、右頬が腫れ上がってきた。	41	170101	10 ～ 29
4	15～ 16	事業所にて機械を移動するため、当社従業員の運転するフォークリフトの側で積荷の機械を手で支えていたところ、前方に停車していた車両がバックしようとしたためフォークリフトが一旦停止したが、すぐに車両がいなくなったため再発進した際に左足を轢かれた。	22	80409	10 ～ 29
4	11～ 12	被災者は荷主先構内にて荷卸し作業をしていた。荷主先のリフトマンが荷物の載ったパレットを移動させ、リフトを旋回させた際に後方に準備してあったパレットに接触し、その勢いで押し出されたパレットが被災者の左足に飛来し受傷した。	40	40301	10 ～ 29
4	9～ 10	ヤード内で作業をしていた時、停まっているリフトにつかまった所レバーを触ってしまい、リフトが無人のままバックして来て、避けようとしたのだが、ヤード内のバン詰め台とリフトに挟まれて肋骨骨折・左腕を切った。	40	80409	1～ 9
4	15～ 16	1階荷捌き場にて、フォークリフトでバック走行しながら、空のサポート付パレットを置こうとした際、被災者の後ろ側を通り、右斜め後方でいったん停止し、右に旋回しながら前進しようとした際、旋回をするだけの十分な距離を取らず接触しそうになったので慌ててブレーキを踏もうとしたら、誤ってアクセルを踏み、パレットが被災者の両ふくらはぎに当たっ	42	80401	1～ 9

		た。			
4	18～ 19	仕分けホーム上で歩行中、後退しながら接近している荷役作業中のフォークリフトに気付かず、フォークリフトの右方後部タイヤと被災労働者の左足が接触した。	66	40301	50 ～ 99
4	13～ 14	工場内にてフォークリフトでパレット片付け中、フォークリフトの左側に立ち誘導中、フォークリフトを右に切り替えした際、左側後輪のタイヤと右足首が接触し負傷した。	33	11501	1～ 9
5	16～ 17	弊社第3センター内にて、フォークリフト（プラッター）を運転していた作業員が、パレットにフォークリフトの爪を差し込む際に斜めに差し込んでしまったため、パレットが押し出される形となり、近くで仕分け作業をしていた被災者の足にぶつかった。	29	40301	100 ～ 299
5	10～ 11	当日、積み込み作業をしていた。作業完了後、荷締め用のラッシングベルトの先端を荷台後部のフックに引っ掛け、ラッシングを伸ばそうと後退していた。側面から後進してきたフォークリフトに接触し転倒した。その際、フォークリフト右後輪が右足に乗り上げ受傷した（安全靴着用）。	54	40301	10 ～ 29
5	16～ 17	構内（工場前）にて、終業後に更衣室に向かって歩行中に、後方から来たフォークリフトにお互い気付かず、歩行者の後ろからぶつかった。フォークリフトの左後輪と歩行者の左足が接触して歩行者が倒れ込み、フォークリフトはすぐに前進して停止し、周囲にいた従業員とフォークリフト操縦者が救助した。	50	10109	100 ～ 299
5	11～ 12	岸壁で鰹船の生け簀を積み込む時の作業中、フォークリフトで網を下している時に船上にいた為、岸壁からフォークリフトが落ちてきた。原因はフォークリフト運転者の運転ミスである。	71	70201	10 ～ 29
5	11～ 12	岸壁で鰹船の生け簀を積み込む時の作業中、フォークリフトの近くで作業していたら、後進してきたフォークリフトにぶつかり、船上に落ちた。その後、フォークリフトが岸壁から落ちてきた。原因はフォークリフト運転者の運転ミスである。	74	70201	10 ～ 29

5	15～ 16	駅構内で貨物を降ろす為、トラックのウイングを開けて、トラック付近に置かれたコンテナ横で作業が始まるのを待っていたところ、荷物を積んで前進して来たフォークリフトが接触して転倒し、両足等を負傷した。	48	40301	30 ～ 49
5	16～ 17	荷主先構内でリフト作業をしている後方を歩いて移動していたところ、リフトが荷物を積み込む為にバックで動き始め、ぶつかってしまい負傷した。	54	40301	10 ～ 29
5	15～ 16	商品の検品作業をしている時に背後からフォークリフトがバックで近付いてきた。両者とも気が付かず、お尻に接触し踏ん張ったところ両足が地面とフォークリフトの間に挟まれ足首が反り返り、両足の甲を骨折した。	43	40301	100 ～ 299
5	15～ 16	納品先構内にて、引取依頼のドラム缶を上下2段積でフォークリフトで搬送中、ドラムがぐらついたので慌ててそのままフォークリフトを降り、前方に回り落下をおさえようとしたが、完全に停止しておらず前輪が左足に乗り上げた。当初は大丈夫だと思い様子をみていたが、後日に骨折が判明した。	62	10801	30 ～ 49
5	10～ 11	熱処理工場建屋南のテントハウス前で、ステム巻き亜鉛メッキ線を吊ったバッテリー式リーチ（2.1t）をバック運転した時、停車していたフォークリフトのフォーク（一本角）先端に左足膝裏下が突き当たり負傷した。	66	11009	100 ～ 299
5	16～ 17	荷役作業中のフォークリフト運転手にホームへのトラック接車の許可を受けるため近付き、会話した後、急にフォークリフトが動き出し、左足甲がフォークリフト後輪と接触した。	33	40301	30 ～ 49
6	11～ 12	当社工場内トラックスケール横にて、歩行者（ケガ人）とフォークリフトで運搬中の雑誌を入れた鉄かごが接触した。リフト部分を1m程上げていた為、鉄かごの下敷きになるような事故になった。運転手が工場よりリフトにかごを載せ、バックでトラックスケールに乗って計量し、左前方に進んだところ、工場内で作業が終わって歩いて来た歩行者に気付かず接触した。	62	150103	1～ 9
		3階エレベーター付近で、フォークリフトに乗車し、冷凍倉庫から荷物の出庫作業をしている際、冷凍倉庫出口からエレベーターまで（3m程）			

6	10～ 11	フォークリフトでバックで移動中、フォークリフトが止まらなくなり（アクセルの操作ミスか、タイヤに箱が付き滑った）、エレベーターの壁が近づいていたため、フォークリフトから降りようとしたが間に合わず、フォークリフトの後部と、エレベーターの壁に体を縦に（右腰リフト側、左腰エレベーター側）挟まれ、右大腿筋挫傷と恥骨骨折をした。	49	80401	1～ 9
6	11～ 12	工場敷地内でフォークリフトを使用して機械移動作業中、一旦作業を中断する為、フォークリフトのエンジンを切った。その際、フォークリフトのツメが下がり、機械のバランスが崩れてしまい、機械の前にいたため避けきれず、左足が下敷きになってしまった。	52	10104	50 ～ 99
6	17～ 18	搬送先で積み荷の荷下ろし作業をしていた時に、倉庫内で作業をしていた別会社の社員が運転するフォークリフトがバックで接近し、被災者に気付かずに、左足の足首部分を左の後輪で轢いてしまったものである。	35	40301	30 ～ 49
6	8～9	会社工場内で北側通路を歩いて移動中、身体を捻って振り向いた際、同方向からバックで警笛音を鳴らしながら進行して来たフォークリフトに気付かず、開いた左足先を安全靴の上から踏まれた。咄嗟に左足を引き抜くことを考え、力任せにフォークリフトを突き倒すように押したはずみで、コンクリート床面に叩きつけられ、右足を負傷した。	72	11209	30 ～ 49
6	14～ 15	惹起者は、平ボデー車への積み込み作業が終了し、カウンターフォークリフトにて空パレットの片付け作業をしていた。トラック脇の空パレットを仮置場に置きバックした際、トラック荷台のシートを掛けようと車両の側にいた乗務員の右手甲を後輪タイヤで轢き負傷させた。（負傷状況：右足踝と薬指のひび）	61	40301	10 ～ 29
6	5～6	卸売市場内1階果実低温売場内において、当社従業員がハンドリフトを後方へ引き出している際、従業員のバック運転中のフォークリフト左後方部分と出合頭に衝突し、被災者は右足の腓骨骨折等を負った。	61	80109	50 ～ 99
6	10～ 11	工場敷地内の屋外にて、フォークリフト乗車中に、停止していたところ、前方不注意の他フォークリフトに追突された。全身に衝撃が加わり、頸椎等を捻挫した。	25	10209	50 ～ 99

6	12~ 13	お客様の敷地内にて、積み替え時、バックしてきたフォークリフトに接触し、左足を負傷した。翌日に腫れ、痛みが悪化した。	44	40301	300 ~ 499
6	16~ 17	構内のホームでフォークリフトから降り、ホームの反対側（西側）にある食堂へ歩いて行く途中で、積み込み作業中のバックして来たフォークリフトと接触し、負傷した。	76	40301	50 ~ 99
6	13~ 14	倉庫内のホームに10tトラックをつけ、自社のリフトマンからトラックの荷物をホームに下してもらい、ホームの上で荷物の点検及びラップ取り外しの作業をしていたところ、お互い合図をするのが遅れ、リフトの先端部分が足の先に接触する事故になった。原因としては、合図を怠り、もういだらうと言う安易な考えが巻き起こす事故になった。（代表者と被災者の2名で荷主先に行き、代表者がフォークリフトを借りて運転し、被災者と接触した。）	58	40301	10 ~ 29
6	14~ 15	パレットの上で返品作業中、後方を確認せずそのままパレットから降りた際、後方から来たリフトと接触し、足の小指を痛めてしまった。	62	80109	10 ~ 29
7	23~24	配送先にて、通常業務である、車両に積んだ荷物の積載状態をデジカメにて撮影している際に、他のパレットを移動していたフォークリフトにより、誤って接触されたため、転倒して背中から首及び足首にかけて強打し、打撲を負ってしまったもの。	28	40301	100 ~ 299
7	14~15	工場内でパイプの溶接・切断作業中に、工場内を走行していたフォークリフトがパイプに接触したためパイプがずれてすねに当たり負傷したものである。	44	11209	50 ~ 99
7	11~12	構内2階で作業中、リフコンの調子が悪く、操作パネルで復旧作業をしている際、リフコンの搬入出口前の安全ガード前に左足を出しており、フォークリフトに挟まれた。	34	50101	30 ~ 49
		被災者（以下「甲」）は、派遣先において商品の入出荷業務に従事してい			

7	13~14	た。甲の後方で、同僚が作業スペースを確保しようとして、駐車中のフォークリフト（以下「乙」）を運転して移動（前進）しようとしたところ運転を誤り、後退してしまった。甲は逃げきれず、乙とカゴ車台車の間に左手を挟み負傷した。原因は、フォークリフトの運転者が、フォークを離れていた時間が長かったため、共同作業者の同僚が、動かしてしまったことによる。	32	170101	100 ～ 299
7	13~14	当社倉庫内にて商品の入出荷作業中に、被災者（派遣元）の停車しておいたフォークリフトが作業の妨げになっていたため同僚（派遣元）が移動しようとした。前進にて移動しようとしたところ誤って後退してしまった。急な後退のため被災者は逃げきれず、荷を入れるカゴ車とフォークリフトの間に左手を挟み負傷した。	32	40301	10 ～ 29
7	8~9	会社の構内で、パトロール車への舗装補修材の積み込み作業が終わり、片付けを始めたところ、後方からきたフォークリフトのフォーク部分が右足に接触し、前方に停車していたパトロール車との間に挟まれた。	57	30199	30 ～ 49
7	8~9	完成品を入れる空コンテナを機械にセット（供給）していた時。一度、空コンテナを機械に供給し、次の空コンテナを取ろうとし、振り向き様に（周囲の確認を怠っていた）リーチフォークリフトと鉢合わせになった。（この時、安全靴を忘れたため、スニーカーで仕事していた。）その際、リーチフォークリフトの左前輪に左足小指部分を踏まれ、さらに前輪アームの突起と右足の脛を接触させたため、受傷。	62	170101	100 ～ 299
7	19~20	営業所において荷物の積載をしている際、トラック左後方で待機していたところに積載作業中フォークリフトの左後方と接触して負傷した。	45	40301	10 ～ 29
7	11~12	上記の物流センター内で、フォークリフト荷捌きを行っている時、他の作業者のフォークリフトが通るため、フォークリフトを停車し、他のフォークリフトが通過するのを待っていた所他のフォークリフトの後部が自身のフォークリフトの後部に接触しその際の衝撃により負傷。	60	80401	10 ～ 29
		工場内の棚卸しで製品をリフトに積み移動する作業を同僚がしていて、後			30

7	10~11	方を確認してからリフトをバックさせた時、後方を歩いて来た被災者の右足の上にリフトのタイヤが乗り上げて負傷した。	53	10805	~ 49
7	10~11	プラスチック工学研究所構内（倉庫前付近）でパレットに載せた荷物をフォークリフトで持ち上げ移動中荷崩れが発生した。慌てて下車し、荷物の状態を確認しに前方へ行った際、フォークリフトが少し動き体に接触した。	31	11301	30 ~ 49
7	10~11	プラスチック工学研究所構内（倉庫前付近）でパレットに載せた荷物をフォークリフトで持ち上げ移動中、荷崩れが発生。慌てて下車し、荷物の状態を確認しに前方へ行った際、フォークリフトが少し動き体に接触。	31	170101	300 ~ 499
7	15~16	ビール積込作業時、発泡スチロールを商品の中に入れるため準備しているのに夢中になり、右足元を出したところにリフトタイヤに踏まれてしまった。	45	40301	1~ 9
7	20~21	倉庫内の入荷した商品を置くスペースで確認作業中に建物の柱付近の作業場から別の作業場へ移動しようとしたところ、建物の柱が死角となり、倉庫内走行中のリフトと接触してしまう。その際、左足に痛みを感じた。	27	170209	30 ~ 49
7	16~17	工場内でフォークリフトによる製品の移動中、運転手は後方を確認後、フォークリフトをバックしたところフレコンバックの脇から作業場を離れ後ろ向きに出てきた被災者にフォークリフトの後方部が接触したと思われる。被災者は接触時に腰を打ち、前につんのめってこけた時に右足首を捻挫したと思われる。フォークリフトは幅4mの通路で作業をしていたため速度は出ておらずバック音はしていた。作業場を離れていた理由は不明。	57	10805	10 ~ 29
7	9~10	検体を冷蔵庫内の検体置場に持って行こうと冷蔵庫に入ったところ、いつもの場所に検体置場がなかったので、冷蔵庫出入口付近で探していた際に、派遣会社運転のフォークリフトがバックで冷蔵庫に進入してきて、気付いた時にはフォークリフトが体の右側に接触し、倒れた時に右足首付近にタイヤが乗り受傷した。	55	10103	100 ~ 299
		当社フォークリフト運転技能講習場で、講師としてフォークリフトの運転技能講習を行っている時に、受講者が検定コース（クランク）に進入しよ			30

7	10~11	うとしてフォークリフトを左に旋回させた時、フォークリフト右側に立っていた講師に接触した。フォークリフト右後輪と検定用の柵に挟まれて、右脚すね下部を負傷した。	68	120101	~ 49
7	15~ 16	弊社流通加工部作業場にて、商品仕分け作業中、後方から来たリーチ型フォークリフトに（運転者弊社社員）追突され、左足を負傷した。	51	40301	100 ~ 299
7	8~9	当社工場内、冷凍冷蔵庫棟内の荷捌き場で出荷商品を積んだ水槽器を、被災者と同僚が手押し作業中、後方から走行してきたリーチフォークのフォーク先端部が、誤って被災者の右足首部に触れ、被災者が同部に挫傷を負った。	56	10103	100 ~ 299
7	14~ 15	営業倉庫において、積み込み作業をする際、製品の確認をしようとしてリフトの脇を移動しようとしたところ、リフトマンがバックしたため足を轢かれてしまった。	48	40301	10 ~ 29
7	9~ 10	沈砂設備へフォークリフトで道具を運ぶ際、道具を降ろす作業をするため、運転手の他のフォークリフト脇に被災者が立ち乗りをしていた。到着直前に右転回移動中、被災者がフォークリフトから飛び降りたところ、フォークリフトの左後輪に右足甲を轢かれた。	46	11603	10 ~ 29
7	12~ 13	構内道路に面した製品ストアの高位置に取り付けた表示板を、道路上に出て見上げて確認していたとき、ラックを積載したフォークリフトが被災者の左側から後退走行してきた。運転者の後方確認不足で、フォークリフトの後部が被災者に接触し、右後部タイヤで左足を受傷した。なお、当該道路は通常、作業者の往来がない箇所であるが、たまたま歩行用安全通路からはみ出したとのことである。	58	11502	500 ~ 999
7	4~5	中央卸売市場本場内、活物売場の北側通路において、南から台車を引いて北へ向かい歩行していたとき、西から東へ向かい後進して来たフォークリフトと接触してしまい、右足を負傷した。	64	80109	1~ 9
	17~	本社倉庫にて、検品作業をしていたとき、フォークリフトのリフトマン			10

7	18	(同僚)が後方確認をせずにバックし、自分もそれに気づかなかつたため、右足がタイヤに轢かれ負傷した。	67	170209	～ 29
7	2～3	作業員が、商品過不足による再検品を行っていた。リフトマンが、リフトにてバース前を行き来する際に声掛けを行わず、作業員の横を通り、パレットAを取りに行こうとした。その際、足が出ていることには気づかず、そのまま通過しようとしたとき、何かに当たったように感じたため振り返り、作業員に大丈夫かと確認したところ、大丈夫との返答があり、リフトマンは作業を継続した。その後、作業員が左足に違和感を感じて靴下を脱いだところ、怪我をされており、事務所へ報告し病院へ行った。	39	40301	～ 499
7	16～ 17	車両置き場に自社トラックで引き取った車両の荷下ろしに行ったあと、車両置き場内にて商品の確認作業をしようとしていたところ、当該トラックから荷下ろし作業を行っていたフォークリフトがバックしてくる際に接触し、負傷した。	74	150102	～ 29
7	10～ 11	梨荷受場所で、作業開始により定位置に移動中、フォークリフト1.5t(荷重)と接触し、右足を踏まれて骨折した。	35	10109	～ 99
9	15～ 16	運搬中のフォークリフトが打ち合わせの為に材料をチェックしていた被災者の近くで停止した。打ち合わせ後、発進時にフォークが振られ左後輪が接触して、右足甲を負傷した。	60	11001	—
9	11～ 12	工場内検査場所にて作業中、後方に3歩ほど下がった所に、フォークリフトが走行していて接触し転倒。右足小指を骨折した。	68	11002	～ 29
9	13～ 14	職場構内にて、本人は昼休み時間になったので休憩場所へ向かう途中、運搬中のフォークリフトパレット先に接触、ふくらはぎ下部をぶつけてしまった。	59	80109	～ 299
9	13～ 14	上記日時、職場構内で休憩時間に、休憩場所へ向かう途中、運搬中のフォークリフトパレット先に、ふくらはぎ下部をぶつけ、痛めたものである。	59	170101	～ 299

9	11～ 12	当社機材置場に於いて、舞台等で使用する照明器具を吊るす鉄骨性の器具を整理作業中、当社社長が運転するフォークリフトの左前輪が被災者の右足に乗り上げ、右足小指中指を受傷したものである。	52	100109	1～ 9
9	10～ 11	当社培養センターの空ビン置場で、フォークリフトで空ビンの運搬作業中に、バックする際鋼鉄製の柱に、後方確認を怠ったためフォークリフトのカバーより、投げ出していた右足をぶつけて、スピードが出ていたため、かなりの強さで圧迫した。	22	10109	10 ～ 29
9	22～ 23	荷卸し構内に於いて、右ウィングを上げ長天物（2.7m×0.7m×0.2m）を車両後方に構内員がリフトで積み込む、その上前方に当該パレットを積み込むも不安定だったので、一度取り卸した。乗務員は安定するよう荷物を固定し始めた、その間、構内員は他の乗務員と打ち合せをしていた。しばらくして構内員は乗務員が固定し終えたと思い、リフトで当該パレットを上げながら左に旋回したが、当該パレットが遠心力で右にずれ、右前方にいた乗務員の背中に荷物が落下、負傷する。	64	40301	100 ～ 299
9	16～ 17	本社倉庫内に於いて、積み込み商品の検品作業中、後進してきたフォークリフトに接触し、転倒した。その際、右足を負傷した。	38	40301	100 ～ 299
9	13～ 14	凍結した漬けを入れたトレー（厚さ5cm位）を20段2列（40枚）を台車の乗せ、冷蔵庫から加工場へ搬送途中リフトを接触。リフト乗務員は被災者を確認した時点で停止したが、被災者は間に合わず停止していたリフトのツメの先端にのりあげる状態で接触。（台車に積んでいたトレー3～4枚くずれ程度の衝撃）その際、右側にあった3t秤の台に転倒し負傷した。	52	10102	50 ～ 99
9	13～ 14	工場内において、凍結した漬けを入れたトレー（厚み5cm位）を20段2列（40枚）を台車の乗せ、冷蔵庫から加工場へ搬送途中停車しているリフトと接触、リフト乗務員は被災者を確認した時点で停止していたが、被災者は間に合わず停止していたリフトの爪の先端にのりあげる状態で接触（台車に積んでいたトレー3～4枚くずれ程度の衝撃）その際、右側にあった3t秤の台に転倒し負傷した。	52	170101	100 ～ 299

9	16～ 17	<p>鑄造第3工場内にてフォークリフトが停止している時、被災者がフォークリフトの側に来て、運転手がフォークリフトを前進させた際、フォークリフトの右後輪が被災者の右足踵に当たり、負傷した。</p>	52	11002	100 ～ 299
9	9～ 10	<p>柿の選果場で柿を箱詰め作業中、通路をフォークリフトが通過した際、自身の左足がフォークリフトの左後輪に踏まれ受傷した。</p>	47	170101	100 ～ 299
10	6～7	<p>被災労働者は工場構内で、工場内のワイヤーとロープでつながれている安全帯を装着し、バルク車の天井に乗り、フォークリフトが運ぶトランスバッグ内の飼料をバルク車に入れ終えた際に、当該フォークリフト運転手が、被災労働者の合図がないにもかかわらず、過失によりフォークリフトを後退させたため、当該ロープにフォークリフトのフックが引っかかり、被災労働者はそのため引っぱられ、宙吊りにされ安全帯による圧迫のため、肋骨が折れた。</p>	56	40301	1～ 9
10	10～ 11	<p>空容器置場にて、車輛庫内から所定場所へ空容器を手で運搬の際、他作業者が空容器積込作業中のフォークリフトを通過時、フォークリフト作業者が後部を良く確認せず後退した為、フォークリフトと接触転倒して、フォークリフト後輪で右足を踏まれ右足を負傷。</p>	42	40301	50 ～ 99
10	10～ 11	<p>工場内で製品にバンドをする際に、本人が通路に飛び出したところ、通路を通っていた前方不注意のフォークリフトと接触して負傷した。</p>	35	11502	100 ～ 299
10	18～ 19	<p>支店構内で、作業中のフォークリフトの直近を歩いて通過しようとした際、フォークリフトがバックをしてきて大腿部に接触し前のめりに転倒してしまった。</p>	33	40301	50 ～ 99
10	16～ 17	<p>会社工場内作業場において、合板集めの作業中にバック運転で走行してきたフォークリフトに、通路付近で後向きにて作業していたために近づいてきたフォークリフトに気付かず、フォークリフトに右足首を踏まれ打撲した。</p>	69	10401	50 ～ 99

10	8～9	ドラム工場仕上げ作業場において、けんすいによるバリとり作業中、同じ構内で従事している別会社の工員が、フォークリフトでローラーコンベア上のパレットを取ろうと回転した際に、被災労働者の左後方から激突し、右足を巻き込んだまま数十センチ引きずった。	39	11002	10 ～ 29
10	13～ 14	作業場所付近を左側歩行中、後ろからリーチフォークリフトが接近していた。歩行中に障害物（荷）を避けようとして右に移動した時に、右足側部を轢かれた。	50	40301	30 ～ 49
10	13～ 14	包装・梱包作業場よりハンドリフトを使用してパレットに積んだ製品を出荷置場まで後ろ向きに運搬していたところ、フォークリフトを使用し出荷置場の手前のトラックバース付近にて運搬作業を行っていた。被災者が後方に旋回した際にフォークリフト後部と背中が接触し、両膝が地面につくように倒れ右足脛部がフォークリフト後方底部に巻き込まれ骨折した。	45	11709	50 ～ 99
10	8～9	取引先従業員が2番積込場でトラックより製品をリフトで降ろす作業をしている時、通常より荷量が多かったため、本来は引き取り用ラック横へ置く所、書庫の前へ臨時的に1p/t置いた。2p/t日を①へ重ねるため積込場で方向転換をして?の位置より前進した。左路面に穴があるため、リフトの爪を30～50cm上げ、喫煙室を過ぎた辺りで右前にある銀ラックと製品が接触しないよう気にしながら前進した所で被災労働者と接触したが気付かず、更に前進した。1m程先で倒れていた被災労働者の右すねと製品を載せたパレットが接触した所で違和感を覚え、リフトをバックさせてエンジンをかけたまま降車した。（被災労働者は給水のため、休憩室へ向かう途中だった。）休憩室前を歩いてリフト前方を確認し、初めて災害の発生を知った。	72	10609	30 ～ 49
10	13～ 14	養殖場餌解凍作業現場にて、解凍タンク（冷凍餌）をフォークリフトにて移動中、後方へバックした際に当事者が巻き込まれ転倒し、右足を骨折した。運転者は後方確認し後方へバックしたが、当事者に気がつくのが遅く事故となった。また当事者もフォークリフトに気がつくのが遅く逃げ遅れた。	47	70209	10 ～ 29

10	9~ 10	Aが運転するフォークリフトに被災者が近より書類の受け渡しを行った。書類を渡したAは、まだ被災者がフォークリフトの近くにいることを確認せずにフォークリフトを右に急旋回させた。その時、フォークリフトの後輪が被災者の右足にのり上げ負傷した。	22	10609	100 ~ 299
11	18~ 19	食品物流センター内（冷蔵庫）の中で、相手方のフォークリフトがバックしてきて、自分の背後から追突してきて、フォークリフトのタイヤに足を踏まれた。	49	40301	50 ~ 99
11	17~ 18	利用者居室のトイレにて排泄介助中、しゃがんだ姿勢でズボンを穿かせる際に腰の負担軽減の為に巻いていたベルトが肋骨に引っ掛かり圧迫されたことで負傷した。数日間痛みを我慢していたが、一向に良くならない為、医療機関を受診したところ骨折していた。	26	40301	10 ~ 29
11	7~8	当社資材置き場にて当日の現場作業に使用する資材の積み込みをしていた際に足を滑らせて転倒し、右腰を強打し負傷したものである。	61	40301	10 ~ 29
11	17~ 18	店舗外において配送用のカゴを片付けようとグリストラップの上を歩いていたら3つある蓋の内1つが外れ落下した。	27	10709	50 ~ 99
11	8~9	選別作業場に移動していたところ、鉄箱を積み運転するフォークリフトが視界が悪い状態のまま運転し、前進してしまったため、移動中の作業員に気付かず接触した。運んでいた鉄箱と地面の間に足を挟み負傷した。	38	80109	100 ~ 299
11	5~6	置場にて歩行中、後退して来たフォークリフト（当社社員運転）右側後部車輪が左足に接触した。	44	80109	500 ~ 999
11	10~ 11	派遣先、1階エレベーター内にて、1階休憩所から2階の作業場へエレベーターで上がる際、リフトが先にエレベーター内にて、本人がその後ろに乗り込んだ。その後リフトが後退して来た為接触した。	27	170101	300 ~ 499
	9~	工場内にて溶接の機械（オペレーション）作業中、リフトが作業エリアに			30

11	10	直進してきて溶接の機械操作中の作業員と接触した。	39	170101	～ 49
11	10～ 11	1Fにて住宅資材を150cm程の高さの棚に補充をしている際に、後ろを通ったリフトに右足を轢かれて右足小指と踵を亀裂骨折してしまった。現場の足元には何もなく、環境は良いが他現場に比べると少し動線が狭い環境であった。双方の注意不足により起こってしまった。	39	170101	～ 29
11	11～ 12	廃プラスチックを出荷するため、フォークリフトにてトラックへ荷物（フレキシブルコンテナ）を積み込む作業に立ち会っていたところ、バック中のフォークリフトに接触、転倒し、右後輪に右足太ももを踏まれた。	69	150102	～ 499
11	2～3	荷主工場構内にて、トレーラーに積荷のため、緩衝材を準備していたところ、積荷へのハンディスキャンをしていた構内作業リフトマンが上手く読み取れず、当方乗務員に気付かず後退したため、リフト右後部とトレーラー荷台のアオリに挟まれる形となり、当方乗務員が負傷したものである。	42	40301	～ 99
12	11～12	工場敷地内にあるプレス製品ヤード内で、製品置場の為、従業員がフォークリフトを運転して作業している時、フォークリフトの進行方向に当社被災従業員が立っていた、又は歩行していたところ、フォークリフトの右フロントタイヤと右足が接触し、右ひざ下あたりがタイヤの下敷きとなり負傷した。	60	11209	～ 49
12	2～3	倉庫1階荷捌き場で、商品にストレッチフィルムを巻いて梱包している時、フォークリフトが前進して近づいて来ているのが死角になっており、作業者の右足が走行中のフォークリフトの前方に出て、フォークリフトに積んでいた空パレットと作業者右足親指がぶつかってしまった。	22	40301	～ 299
12	10～11	当社業務請負先敷地の屋外にて、空オリコン整理のために運行されていたフォークリフトが後方を確認せずバック走行したため、歩いていた被災者に気づかずに接触してしまい、被災者が受傷した。	48	170209	～ 29
		倉庫1階荷捌き場で、商品にストレッチフィルムを巻いて梱包している時、フォークリフトが前進して近づいて来ているのが、死角になってお			

12	2~3	り、作業者の右足が走行中のフォークリフト前方に出て、フォークリフトが積んでいた空パレットと作業者の右足親指がぶつかってしまった。	22	170101	—
12	5~6	派遣先構内の空箱置場にて、空箱整理の作業中、派遣先従業員の運転するフォークリフトが、被災者に向かって後退し接触した。その際、被災者の右足に後輪タイヤが乗り上げ受傷した。派遣先従業員がバックする際、後ろを確認したときに右側にいた被災者が、気がつくやうに左側に移動しており接触した。	38	10805	100 ~ 299
12	5~6	派遣先の空箱置場にて、空箱整理の作業中、派遣先従業員の運転するフォークリフトが、被災者に向かって後退し、接触した。その際、被災者の右足に後輪タイヤが乗り上げて受傷した。	38	170101	100 ~ 299
12	20~21	東側スロープに自家用車を駐車し、青果棟内へ入るため徒歩にて移動中、青果棟入口付近で、バックしてきたフォークリフトに背後から当てられ、そのまま前向きに転倒した。その上をフォークリフトが移動したため、左足を轢かれ骨折した。	58	80109	100 ~ 299
12	11~12	工場の倉庫内を休憩のため移動しているとき、委託業者の従業員がフォークリフトで荷物を荷物用エレベーターに乗せようとしていた。前方が見えていなかったため、荷物が本人の右腕と右脇腹に当たって打撲した。	68	10109	100 ~ 299
12	9~10	A-PET製造機前の作業デスクへ移動しかけたとき、バックの状態の後退してきたフォークリフトに左足側面が踏まれ負傷した。	56	10899	50 ~ 99
12	20~21	構内ホーム下にて移動中、後退してきたフォークリフトに接触して転倒したとき、そのまま後輪が当人の足に乗り上げた。	39	40301	100 ~ 299
12	18~19	支店の構内（ホーム上）で荷物の積み込み作業を始めようと、事務所から伝票を持って自身の作業場に移動中、年末で荷物があふれている中、一旦プラッターをやり過ぎたので安心して伝票を見ながら歩いていると、そのプラッターが勢いよく右斜めからバックしてきて、気づくのが遅れて左	44	40301	50 ~ 99

		足を挟まれ転倒し、左足の甲を負傷した。			
12	15~16	営業所内で配送終了後、車庫内のパレットを降ろしている作業中のフォークリフトの後方に回り、接触して転倒し、左足首を右後輪に踏まれた。	52	40301	50 ~ 99
12	4~5	弊社営業社員である被災者は、青果物商品の荷捌きのため、ハンドリフト（手動人力）により商品を後退しながら移動させていた際、別の弊社社員が別商品を移動するために運転するフォークリフトの右側後輪と、被災者の左足首（かかと）が接触して受傷した。	30	80109	10 ~ 29

出典：[https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen\\_pgm/SHISYO\\_FND.aspx](https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx)(職場のあんぜんサイト)

Return to : [https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206\\_08.html](https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_08.html)